

平成22年度保健福祉部社会福祉課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p><b>『市地域福祉計画』の推進</b></p> <p>① 「あんしんSOSカード」の全戸配布 急病や災害時等において、消防署員や警察官等が駆けつけた際、本人との意思疎通が困難な場合でも、必要な措置や連絡先等が分かるように、「あんしんSOSカード」を全戸配布する。</p> <p>※ 「あんしんSOSカード」は、筒状のポリ容器に入れ、冷蔵庫等に保管しておくもので、平成21年度において、木津民生児童委員協議会と市社会福祉協議会木津支所が共同事業として65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に実施している。</p>	<p>地域長（自治会）や、民生児童委員協議会、市社会福祉協議会等の協力のもと、全戸配布を実施する。</p> <p>※必要経費の概算 25,000世帯×100円 =2,500,000円</p>	○	<p>シルバー人材センターに業務委託し、木津地区17,010世帯、山城地区3,069世帯、加茂地区5,459世帯へあんしんSOSカードを配布した。</p> <p>市民年金課・各支所・西部出張所にSOSカードを設置し、転入されてきた方にも配布した。</p>
	<p>② 福祉避難所の設置 災害発生時において、一般の避難所での生活が困難な障害者や高齢者等の要援護者が、避難する場所として、福祉サービス事業所の協力を得て、「福祉避難所」を設置する。</p>	<p>福祉サービス事業所の理解と協力を得て木津、加茂、山城の各地域に、「福祉避難所」を設置する。</p>	○	<p>平成23年3月24日に災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定の調印式を執り行い、介護付有料老人ホーム「サンシティ木津」と協定を締結した。</p> <p>福祉サービス事業所に対してアンケート調査を行い、サンシティ木津を除く12の施設から協定に協力するとの回答をいただいた。平成23年度以降、協力をいただける施設について検討し、協定の締結に向けて動きを進めていく。</p>

2	<p><b>『就労支援促進事業の活用による自立支援』の強化</b></p> <p>生活保護制度の目的である‘自立の助長’を推進するため、稼働能力を有する被保護世帯に対して、専門的な支援をおこなう“就労支援員”を引き続き配置することにより、本市「就労支援プログラム」に基づく自立支援を強化する。</p> <p>また、子育て支援課と連携することにより、“就労支援員”による母子家庭を対象にした就労相談（支援）を実施する。</p>	<p>稼働能力のある被保護世帯を対象に、年5人程度、稼働能力の活用（就労）を目指す。</p> <p>※平成21年度実績</p> <p>就労：9人</p> <p>（内訳／被保護世帯：5人・被保護世帯以外：4人）</p>	○	<p>就労支援員の専門的な立場から、被保護者及び生活保護の対象となる可能性のある困窮者に対して、自立に結びつく効果的な就労支援を行うことができた。</p> <p>母子家庭について、子育て支援課と連携し、重点的支援者として就労相談を実施した。</p> <p>住宅手当（失業者等への緊急措置）と連携した就労支援にも取り組んだ。</p> <p>就労支援人数は、昨年の9人を上回る32人の支援となり目標が達成できた。</p> <p>被保護者の就労者は10人。そのうち保護廃止は4人。（うち母子家庭は3人。そのうち保護廃止は2人。）</p> <p>被保護者以外の就労者は19人。うち全員が保護の対象にはならなかった。</p>
3	<p><b>『生活保護世帯の高等学校進学』の支援</b></p> <p>生活保護世帯で、中学生のいる世帯（親子等）を対象に、高等学校への進学に対する動機付けをおこなうために、中学校等と連携することによる就学状況の見守りや情報提供等を実施する等、高等学校入学までの支援をおこなうことにより、社会的自立を促す。</p>	<p>生活保護世帯の子どもが、高等学校に進学できるよう支援をするために“(仮称)高等学校進学支援プログラム”を作成する。</p>	○	<p>高校生進学支援プログラムを平成23年3月に作成できた。</p>

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。